

茶話会 ZoomURL 情報

8月26日(土) 14:40-15:40



Room1

「『誰も置いていかない』英語指導へ向けて」

ファシリテーター：加藤 茂夫 先生（新潟大学）

『文部科学省による直近の「児童生徒の困難の状況」調査（令和 4 年 12 月）では「学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒数の割合は小・中学校で 8.8%と示されました。ユニバーサルデザインの視点を取り入れた英語指導の実践や「英語学習に困り感のある児童生徒」への支援全般についてカジュアルに情報交換しませんか?』

Room2

「英語教育と言語学：「外国語」活動、「外国語」科であることを最大限に活かす」

ファシリテーター：山田 敏幸 先生（群馬大学）

『本茶話会では、学習指導要領上も、外国語活動、外国語科とされるところを実質それぞれ英語活動、英語科としている日本の英語教育を鑑み、敢えて「外国語」活動、「外国語」科であることを最大限に活かす方法を参加者と一緒に考えてみたいと思います。具体的には、子どもを日本語と英語だけという狭い世界に閉じ込めるのではなく、人間言語一般という広い世界に解放し、言語教育における子どもたちのメタ言語能力に着目して、特に母語以外の言語を学ぶ楽しさを模索します。その方策として、言語学でも特に 1950 年代以降の現代言語学の理論的基礎研究において、人間言語について分かってきたことを、できるだけ分かりやすい形で、言語教育の実践に活用できるように提案してみます。特に外国語としての英語教育における学習者の動機づけに焦点を置いて、教育現場の方々が理論言語学に期待することを一緒に考えてみたいと思います。理論と実践の往還として、言語学（ことばの研究）で分かってきたことを言語教育（ことばの教育）に活用していきましょう!』